

令和7年7月3日(木) 18:30～ 金屋小学校区学校統合懇談会(於:荒川地区公民館)  
参加者:P T A保護者18名・保育園保護者4名・市教委4名・学校2名

《質問・意見及び回答内容》

保護者 このアンケートの中で初めて保内小学校の行事が簡素化されているという動きを知った。統合後も保内小学校の行事簡素化の流れで行く方が高いのか。

市教委 具体的な学校の運営については、先になります。統合推進委員会というもので協議して決めていくことになるので、保内小の現状がそうだからそれに合わせなければならないということではないというふうに考えていただきたい。話し合いで決めていくということです。

保護者 簡素化している理由とは何か。恐らくそれは一つに先生が大変だとか親御さんが大変ではないかということであれば、むしろ量が増えるのでそっちの流れ(保内小の流れ)になるのが8割以上ではないのか。

市教委 特に行事が簡素化している認識はないが、今教員の働き方改革で学校運営の在り方、より効率的な学校運営の在り方に日々取り組んでいるので、そういった関係でこれまでの行事のやり方が簡略化されていっている部分はもしかしたらあるかもしれないが、統合推進委員会では両方の学校から同じ人数が出ていただく形で進みますので、8割方そっちに寄っていくことはないというふうに考えています。

保護者 望ましい教育環境整備計画方針で気になったのが、保護者の回答で、地域の核となる学校がなくなり、地域の活気がなくなった気がするというのが、そう思うのが68.6%だった。地域としての面とか、そういったところも考えていかなければいけないかなと思っている。その点の不安を解消できる具体的なご提案とかお話しがあればお聞かせいただきたい。

市教委 地域の核となる金屋小学校が空いた場合の想定ということだと思いますが、今、各地区で先に統合して空いた学校もあります。学校跡地利活用ということで市全体で検討を図っているところです。ご心配されている衰退しないように有効活用をしていきたいという考えはありますが、まだ具体的な方針は示されていないので、引き続き検討させていただきたい。朝日地区についてもようやく小川小学校とみどり小学校について、この次はみどり小学校を使っていきたいということがようやく決まった段階です。その決まった段階になってからようやく検討に入ることなので、荒川地区についてはハッキリとしたことは教え

られないという状況です。

保護者 大人はいろいろな話を聞かせていただく場があるが、子どもたちにどの程度まで話がされているのか。通うのは子どもたちなので、子どもたちが一番理解も納得もしなければいけないと思う。これについてどのような考えか教えていただきたい。

市教委 前回、令和元年度、令和2年度の統合の成果から、この新たな第2次整備計画方針を策定いたしました。先ほど統合した保護者のお話で、地域の活性化に影響が出てくるというお話がありましたが、子どもたちの方は、非常に柔軟です。学校統合されたことについてどう思いますか。よかったとどちらかといえばよかったが81.8%、これは統合した6校の子どもたちに聞いたアンケート結果です。それから、学校統合前と比べて友達が増えた、そう思うどちらかといえばそう思う91.6%、それから統合により勉強をする気が出てきた、そう思うどちらかといえばそう思う60.3%、人数が増えたことによりいろいろなことを経験できている84.4%、運動会や遠足、学習発表会などの学校行事が楽しくなった85.1%、友達と仲良くなれるか心配したがすぐに友達になることができた85.6%、休み時間や放課後などに友達と遊ぶことが多くなった83.3%。もちろん、よくならなかったと思っている子もいます。だから、そのような子もいるという事実には十分配慮していかなければなりません。だけれどもそのような子ができるだけ少なくなるように、学校統合の前から両校で交流しあう時間をもうけるだとか、行事を一緒にするだとか、そういうことを子どもたちを通じてやっていくことで、これから新しい学校を作るんだよということを子どもたちにも理解していただいて、そういう目で働きかけるということはできると思います。ただ、子どもたちに統合に賛成ですが、反対ですかとストレートに聞く機会は、私たちはこれまで作ってきておりませんでした。

保護者 この会は、反対の意見が一定数あると思うが、そもそも統合は決まっているから、反対の意見の人を納得させるための会なのですか。

市教委 金屋小学校には金屋小学校の良さがあります。それは、もしかして、保内小学校のデメリットかもしれません。保内小学校にもたくさんメリットはあります。それは金屋小学校のデメリットかもしれません。それぞれの学校には伝統もございまして、保護者、子どもたちの願いもありますし、どちらかの学校が地域からなくなるというのは本当に大変な決断をしなければいけないのは事実です。これまでも両校に働きかけながら学校統合を実施してきました。そういう中で、村上市の考えとしては、荒川地域には1学年2学級規模の学校が

望ましいのではないかという考えのもと、両校に学校統合ができるようにそれぞれの良さを生かしながらできないかなということで令和10年度に向けた統合に進むことはできないかという働きかけをさせていただいております。それに対してご意見を頂戴してるのです。まざまなご意見があるのはごもっともだと思います。

保護者 反対意見があってもそのまま進むということですよ。

市教委 金屋地域の方が著しい反対をされて、保内小側と寄り添っていかなければならないのに、一方の地域が、絶対だめだということになれば統合はできないと思います。だから、そうならないように、お互いが歩み寄れないかということでこのような話し合いを重ねさせていただいております。

保護者 では、反対が強ければ統合しないということですか。

市教委 無理言ってなにがなんでも統合だということとはできないと思います。だから、そうならないようにすり寄ることができるのか、できないのか。ただ単に学校がなくなるのがいやだとかさみしいとか、活性化しなくなるとか、子どもたちが嫌だと言っているとか、そういうことだけじゃなく。金屋小学校さんだけではなく、荒川地域の子ども全体のことを見ていただきながらご意見をすり合わせていただきたいなと願っております。

保護者 多様な大人と関わりあうというお話があったと思うが、今の金屋小学校の教育の在り方を見ていると、それこそ地域の多様な大人と関わりあう場面であったり、友達の子と顔を知っていたりだとか、そういった関わりあう場といった面でいえば、私としては今は申し分のない状況だというふうに思っている。確かに子どもの数は少ないかもしれないが、学年間の交流があり、習い事とかでは保内地区の子と関わりあっているし、地域に出て行ったりとか学校行事の中で大人と関わりあうという場面はあるかと思う。例えばそういう場面が統合によって、むしろ下がったということがあり得るのか。

市教委 地域とのつながり、例えば新しい神納小学校ですけれども、旧神納小学校、旧西神納小学校、旧神納東小学校の3校が一つになって新しい神納小学校になりました。当然広い神林地区ですので、それぞれの地域で子どもたちは非常に大切にしてきました。一つになると、関わりが薄くなるということはあると思います。地域の子どもを地域で育てるといったときに、仮に保内に行かなければいけないとしても、金屋の方々は荒川地域の子どもということで全部ひっく

るめて愛情を注いでいただかなければならないのだと思います。

逆に、そうなった場合、保内の方々も金屋の子を含めて金屋地域の方々の声をよく聞いて、行事やいろいろなPTA活動とかも、思いをくんでいろいろな教育課程を作っていかなければならないと思います。やはり両校が対等にこれからの地域の子どもたちのためにより良い環境を作っていくんだと、そのためにどんな協力をしなければならないのかというのをよくよく理解していただくのが、このような話し合いの場なんだと思います。

保護者 先ほどから、皆さんの話を聞いていると、ここで決めなければいけないことを決めて、このことについては後で決めましょうよとか、後で検討していただきますよという話が出た。ここに来る前に、これまでの岩船中と神林中とか朝日の統合の話とかを見てきた。結局その段階になって、バスのロータリーはどうするのか、道路を広げてほしいのに教育委員会で国交省とか県の方に言っているのかとか、後々これを決めてもらわなければいけないがとか、校舎を使ったときにこれはどうするんだとかいう話が出るが、それは後の話で、要望はしますとかいうことが多い。我々としては、統合に対して不安な気持ちがあるのに、なんとかしますよという話だけで具体的なご提案をいただけないところが、我々の不安が解消されない核なのではないかと疑っている。この検討のスキームは後戻しができないですね。我々がここで検討会に進んでいいよといえば検討会に進み、統合どうしますかという話になった時に、じゃ統合しましょうと、ただし、こういう付帯条件を考えてくれないと困るよと言って、出したとしても、両校の検討会の時にやっぱりそれは難しいよねとなったとしたら、でも金屋としては統合することはOK出したからこのまま進めなければいけないよねという不可逆になる状態。我々が不安なところが決まっていけないというか全く見えないままに進んでいくということは、スキーム上の問題があるのではないか。

市教委 (スキームの変更について) ものによると思います。こうやってほしいんだという内容によってできるものと、相手がいて相手と調整しなければいけないものと、決めることができないものとありますので、そこは精一杯要望に応えていけるように調整を図りたいとは思いますが、相手との協議という部分はお約束はできない部分はあると思います。一昨年から統合の仕事をしている中で、なかなか前もってこのことは大丈夫なんでと約束できるものではないかなというところ です。

保護者 子どもが減っているというのは変えられない事実なので、それに対してしょうがないから統合するしかないよねというのが金屋は全体的に多い。ちょっと

元気がない、どっちかというと沈んでいる。

例えば金屋が残っていくとして、複式学級にしてその後でもいいのではないかという意見がアンケートの中であった。

複式学級とはどんなものかというのを知りたい。親に判断材料を持たせた上で、ちゃんとした判断をさせてもらいたい。逆に複式学級になるしかないなら、複式学級のメリットも伝えてもらいたい。2学級の良さも伝えてもらいたい。

市教委 2学級あることの良さですが、皆様方は小学校の時どうだったでしょうか。学年1学級でしたでしょうか。保内小学校は以前は3学級4学級ありました。それが今2学級、再来年あたりからいよいよ1学級、35人以下になってきます。35人を、先生一人でまとめ上げるのはなかなか難しいのではないかと思います。だから、仮に36人いれば2クラスになって18人ずつ見ることができます。するとクラス替えができますし、生徒指導上の問題ができたときも、翌年は離すことも可能かと思えます。やはり、子どもたちの成長には適正規模というのがありまして、学年2学級以上が望ましいのではないかと言われております。ということで2学級を維持したいという気持ちはございます。

複式のメリットは、上の学年の子が、下の学年の子を一つの教室の中で面倒を見るだとか教てあげるだとかそういう面ではいいのかもしれない。

デメリットは、一人の先生が2つの学年の勉強を見なければならない。そうになると半分の時間は3年生の勉強を見る、その時4年生は自習のような形になるとかという場合がある。例えば3年生と4年生が複式になるとすれば、本当は3年生単学年で学んでいかなければならないのを、3年生で、3年生の内容を半分と4年生の内容を半分ずつ、4年生で3年生の内容半分と4年生の内容を半分ずつ、2年間で学ぶのです。3年生の子が4年生の勉強もしなければならぬのです。それで4年生になった時3年生の勉強もするという風に、要は2年間で2年間分の勉強をする。さらに、2つの学年を足して16人までだと複式学級になります。1年生が絡むと、2つの学年を足して8人までだと複式学級になります。

金屋小学校さんの場合、令和12年度に発生するか発生しないかぎりぎりのところですよ。発生すると2、3年生合わせて16人。この通常学級には特別支援学級に在籍している子は含めないという条件です。ですので、資料で将来の児童数の推移をお見せしておりますが、特別支援学級に在籍の子も含んでおりますので、どうなるのか全く分からない状況です。決して差別しているわけではございませんが、現実にはそんなんです。何が問題かという、2、3年生合わせて16人だった場合、2年生と3年生で複式は組みません。勉強が全く違うからです。2年生だと理科も社会もないし、難しいので、3年生と4年生で複式を組むんです。すると複式と関係ないと思われる学年も巻き込まれるので

す。そして、次の年になるとまた単学級になる。次の年また複式になったりだとか。3年生から複雑に、複式、単式、複式、単式という風に動いていく可能性があるのです。決して複式が悪いとは言いませんけれども、現実にもそういうことは解消しなければならない、解消してほしいというのが保護者の願いでもあり、教育委員会の願いでもあります。

保護者 私自身、複式の学校を卒業して大人になった。子どもからしてみれば、上の学年の子と一緒にのクラスになったり、下の子と一緒にのクラスになったり、何ら気にすることはなかった。そういうものだと思っていたので。気にするのは親や先生の方だと思う。子どもはそれなりに順応しますし複式になっても大丈夫だと思う。

1学年で2学級を維持したいということですが、36人だと2クラスということですが、1クラスが18人でもう1クラスが17人とか、変則的にはできないのでしょうか。

市教委 35人だと教員が1人しか配当がないので1学級になります。36人だと2人配当されるので2学級になります。

保護者 どうしても2学級を維持したい理由を教えてください。

市教委 子どもにとっては先ほど述べたとおりですが、先生方にとっても学年で、例えば3年生担当の先生が2人いるというのは非常にいいことだと思います。一人で全部3年生のことを考えるのではなく、二人の力で、勉強のアイディアや生徒指導の面でも相談しあいながら先生方が高まりあっている。先生が高まりあえば子どもにもその良さが広がっていく。もちろん、一人のしっかりした先生が少ない子どもを見てれば、それはそれで成果は出ると思います。実際に金屋小学校さんは立派にされていますので、決してそれを否定するわけではございません。だから、やはり大勢の先生がいるというときに子どもはいろんな先生に相談できる。級外の先生も多くつく。ということで、学校自体に活力が生まれるんじゃないかと思います。その他、特別支援学級も4、5学級ございますし、通級指導教室も保内小学校にはございます。そういう面でより多くの相談できる場もございます。学校をいろんな大人の目で見てやれるという良さがあるのだと思います。だから、金屋小学校の現在の良さ、保内小学校の良さ、それを決して否定するものではありませんが、学年2学級を教育委員会としては維持していけるようにしたいと思っております。

保護者 相談する先生の人数があるといいというお話だったのですが、大人数が苦手

な委縮してしまう子もいる。そういうことも考えてほしい。少人数でも友達の間でトラブルがあって、先生が見えるところでもいろいろあったが、大人数だと目が届かないのではないかという心配がある。

保護者 1 学年 2 学級を目指しているとのことですが、児童の推移を見ると、令和 1 3 年度の 1 年生の 2 校の合計が 3 4 名となっています。ということは令和 1 5 年にはもう 1 学年 2 学級作れなくなってしまうことになるのですが、この時までにはまた何か統廃合とか考えているのか。

市教委 それは本当に心配しております。現在の 2 学級維持というのを将来にわたって維持していけるのかということは確かに心配事です。そのために新たな学校統合するかという現時点では考えておりません。だから、そうなったとき金屋小学校さんも著しく減ってきますので、そこは本当に悩ましいところです。教育委員会の現在持っている構想が近い将来成り立たなくなるかもしれないという不安は抱えております。ご指摘のとおりです。

保護者 令和元年 2 年の統合の後の子どもたちのアンケートで八割が良かったという回答を得たということなんですけれども、2 割弱は良かったと思っていなと回答していますけれども、その統廃合が原因で不登校になった生徒児童はいるかいなか教えてほしい。

市教委 個別に統廃合が原因で不登校になったかどうかまではよくわからないが、前回の統合が行われた令和元年の時に、市全体の不登校が増えたかという、そういった形にはなっていなかった。前回の統合で全体的に見れば不登校が増えるということはないという、ちょっと統計的な数字になってしまうが、そういった結果でした。

市教委 統合のために不登校になったということは私たちは個別には把握はしておりません。そのような訴えは聞いておりません。

保護者 学校行事については統合推進委員会で検討と書いているが、私の認識ですと学校行事というのは統合の検討委員会で決めるのではなくて、学校判断、学校長である管理職の判断で学校行事を決めているはずだと思うがどうか。

市教委 統合推進委員会の下部組織に、教育課程部会だとか通学方法どうするかとか体操着どうするか等の個別の部会を組織します。その中で、教育課程部会のところで、両校の校長、教頭はじめ関係者が集まって、両校の今現在の学校行

事とかがどういう状況なのでどうすりあわせたらよいのかを統合前に決定いたします。教育課程を作らないと教育計画ができないので、統合前にそれは両校の校長、教頭、その他職員が相談して作り上げていきます。それを新しい学校の校長が尊重して、きちんと実行していくというこれまでの状況です。

保護者 それは統合してすぐの頃だと思う。統合して何年かするとその考え方がなくなると思う。現に、保内小学校の学校行事が少なくなっているというのは当時の学校長なり管理職の判断で少なくなっているでしょうし、金屋小学校にいたっても、昨年からスキー教室がなくなった。それはたぶん、学校長や管理職の判断でなくなったんだと思う。なので、いくら統合推進新委員会で決めたとしても、統合してすぐのときはそうなるとしても、数年後管理職が変われば学校行事は当然変わっていくと思う。その辺はきちんと説明いただきたい。

市教委 新しい学校ができれば、やはり保護者の皆さんの声も聞きながらどうしていくべきなのかを校長中心に判断していくことになるんだろうと思います。

保護者 金屋小学校の統合検討会の時に検討したときに、令和10年という計画ではなく、先ほど柔軟にという言葉もあったので、令和13年統合というスキームの中のテーブルにだったら着けますよというような回答はできるのかということを確認させていただきたい。

市教委 それが合同検討会に行って、保内側のご意見もありますから、そこですり合わせた時にどうなるのかは保障はできませんが、そういう考え方があっていいのではないかとはいいます。

保護者 統合検討会の時に、例えばそういう付帯がでてきたら、合同検討会の時に持って行ってテーブルに乗せるという考え方ですか。

市教委 そうじゃないでしょうか。保内小学校さんにそのような条件は付けてませんので。保内小は保内小の考え方があるかと思います。

保護者 保内小学校の方は賛成が多いが、それは本当にゼロベースでというかフラットなところで賛成になっているのか。自分たちは受け入れる側だから賛成になっているのか、その辺はどのように考えているのか。金屋小学校の校舎を使っても統合していいんだという賛成なのか、保内としては自分たちが受け入れるから賛成になっているのか。保内としては自分たちが受け入れる側だから賛成にしている方の方が多いのではないかと。そこが、もし金屋小学校を使うかもしれ



ないですよということでアンケートを取った時に、同じように賛成が多い結果になるのかどうか、そこは知りたいと思う。保内は受け入れる側での賛成が多数だから、次の統合検討会に進んでもいいですよという話になったかもしれないけれど、たとえば校舎はどっちを使うかわからなくて金屋になる場合もありますよという条件を出したときに、本当に保内の方は賛成がこのように多くなるのか。どうでしょうか。

市教委     閉校をどうするかは別にしても、保内は校舎は保内の校舎を使ってくれるのではないかという気持ちでアンケートに答えてくれてるんじゃないかという気持ちはございます。

保護者     そうなると、フラットではなくなる。校舎はどっちを使うかまだ分からないよとなった時に保内としてはやっぱり反対しますとなったら、この先はどうなっていくのか。校舎については、すごく重要で、保内は金屋からすごく遠い。これがもし、公民館や中学校付近だったらまだアンケートの結果は変わってくと思う。保内の方の意識が受け入れる側でのアンケート結果だとすればこのアンケートの意味はどうなんだろうと思う。

市教委     おそらく校舎は金屋になるかもしれませんよという前提であればアンケート結果は相当違うのだらうなというふうには思います。ただ、合理的に考えて古い校舎と新しい校舎はどっちがいいですかという風に考えたときに新しい校舎を選ぶのが多く声なのではないかなという風に思います。校舎について触れていない形でのアンケートでしたけれども、保内側はそういう見方をして答えてくれたのではないかなという風に受け止めています。

保護者     例えば金屋はこれからどうするかという意味決定をしていくと思うのですが、保内小学校の検討会の場で、あらためてその意思決定をする人たちに、保内小の校舎を使わないという可能性があるとか校舎がどこでもいいけれども賛成なのかをあらためて話をさせていただいた上で、それでもどういう意思決定をされますかというようなことは是非問うていただきたい。もし、金屋の方で合同検討会に行くのであれば、そのリアクションをありのままを教えていただきたいという思いはあります。

市教委     それぞれの統合検討会に進んでいただくという前提ですけども、それぞれの統合検討会で、例えば保内の統合検討会で私たちが参加したときに、金屋の皆さんこのようなことを考えておられましたと、このような意見がたくさん出されました、保内の皆さんいかがですかという問いかけはさせていただきま

す。そういう中で、今回の統合についてどうお考えですかという尋ね方をしていかなければならないと思います。逆に保内の方が先だった場合、金屋の統合検討会の場で保内の方がこのような考え方でしたよということはお伝えいたします。

以上